

環境経営レポート

2025/4/9

2024年度版（2024年4月～2025年3月）



(有) ヤマトヨ商店

区分：記録	名称：環境経営レポート	2024年度版
-------	-------------	---------

1.会社の概要

有限会社 ヤマトヨ商店

・代表取締役
秋山 太郎

・環境管理責任者
秋山 太郎

・住所
埼玉県加須市東栄2-11-58

・TEL 0480-65-5003 FAX 0480-65-5315

HP <http://www.yamatoyoshouten.jp>
email- mail@yamatoyost.com

・組織図

社長 秋山 太郎

環境管理責任者 秋山太郎

収集運搬部

総務部

・業種 一般廃棄物収集運搬業及び廃棄物収集運搬業
産業廃棄物扱い量(2024年度実績):547.25t
一般廃棄物取扱量(2024年度実績):1555.43t
収集運搬する産業廃棄物の種類 金属屑、木屑、廃プラスチック、ガラス、コンクリート陶磁器くず、がれき類

・設立年月日 昭和28年3月13日

・資本金 300万円

・売上高 13018万円(2022年度)

・施設状況等

使用車両 10台

〔内訳〕キャブオーバ 4台

コンテナ専用車 4台

塵芥車 1台

クレーン付ダンプ2.3t 1台

・収集運搬料金
量、距離、種類によりますので、お問い合わせ下さい。 電話 0480-65-5003

2. 対象範囲

会社の概要の中の組織図及び業務を適用範囲とする。

産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号 01105039574

埼玉県

令和3年9月27日

許可の有効年月日 令和10年9月2日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

許可番号 01000039574

群馬県

令和4年4月27日

許可の有効年月日 令和9年4月26日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

許可番号 00801039574

茨城県

令和4年6月16日

許可の有効年月日 令和9年6月11日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

許可番号 00900039574

栃木県

令和3年11月9日

許可の有効年月日 令和8年11月8日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

許可番号 1300039574

東京都

令和5年7月21日

許可の有効年月日 令和10年7月20日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

許可番号 01200039574

千葉県

令和4年10月4日

許可の有効年月日 令和9年10月3日

廃プラスチック、木くず、金属くず
ガラスくず・コンクリート及び陶器くず
がれき類

一般廃棄物許可証(加須市)

加資許第4号

許可の年月日 令和6年4月1日

許可の有効期限 令和8年3月31日

発行 2025年4月9日

1

区分：記録	名称 環境経営レポート	2024年度版
3.環境方針 埼玉県加須市で廃棄物の収集運搬業を始めて 社の方針として整理整頓、特に収集した後の場所の 清掃および、車の安全運転の実施について取り組んできました。 このたび、環境保全活動(CO2排出量の削減、水資源の削減 廃棄物の削減、環境法規制の順守、地域社会貢献活動)を 実施するにあたり、エコアクション21を導入し、地球環境へ配慮した 活動も、社の方針として取り組みます。 【取組事項】 1. 車両燃料の削減によりCO2排出量の削減をします。 2. 電力光熱費の削減によりCO2と水資源の削減をします。 3. 廃棄物の削減をします。 4. 環境関連法規制の順守を推進します。 5. 地域社会貢献活動に参加します。 6. グリーン購入に取り組みます。 7. この環境方針は従業員が理解し行動できるよう周知します。 8. 無事故無違反で安全に作業、運行します。 2023年7月10日改正 2008年4月1日制定 有限会社ヤマトヨ商店 代表取締役 秋山 太郎 2		

4. 環境経営目標

2021年～2025年度

	単位	基準年 (2020)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CO2排出量 (原単位)	t-CO2/千 万円	5.73	5.67	5.62	5.56	5.50	4.66
車の燃費向上	km/L	6.2	6.2	6.3	6.3	6.4	6.4
水使用量	m ³	65.6	65.6	65.6	65.6	71.9	70
廃棄物排出量	kg	180	170	160	160	150	150
地域貢献	回	4	4	4	4	4	4

注) 化学物質は使用していないため、目標は設定しない。

5. 環境経営目標とその実績

2024年度

	単位	2024年度 目標	2024年度 実績	評価
CO2排出量 (原単位)	t-CO2/千 万円	5.50	4.66	目標達成
車の燃費向上	km/L	6.4	6.2	目標未達成
水使用量	m ³	71.9	65.3	目標達成
廃棄物排出量	kg	150	130	目標達成
地域貢献	回	4	4	目標達成

CO2排出量60745kg

注1) 化学物質は使用していないため、目標は設定しない。

注2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エネルギーパートナーの令和2年度の調整後の排出係数0.441 (kg-CO₂/kwh)を使用

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

CO2削減	環境目標	環境活動計画(2023)	実績及び取組結果	次年度の目標、取組み
	二酸化炭素削減目標(CO2換算)	活動内容	実績	
	基準年度無 48000kg-CO2	アイドリングストップ、暖機運転時間の管理	60745kg-CO2	エコドライブ運転教育を行う
	2023年度は48000kg-CO2以下とする		取組結果	運搬ルート工夫、アイドリング時間の管理
	※購入電力の二酸化炭素排出係数は		原単位での評価では目標達成	車両別に燃費を算出し記録及び比較
	0.441(kg-CO2/kwh)を使用			エアコン設定温度 夏季27℃ 冬季21℃

燃費向上	燃費目標	活動内容	実績	
	基準年度無 6.4km/1L	毎月の燃費を記録	6.2km/1L	昨年度の同時期と比較し、低燃費を
	2025年度は6.4km/1L以上とする		取組結果	意識する
			目標未達成	

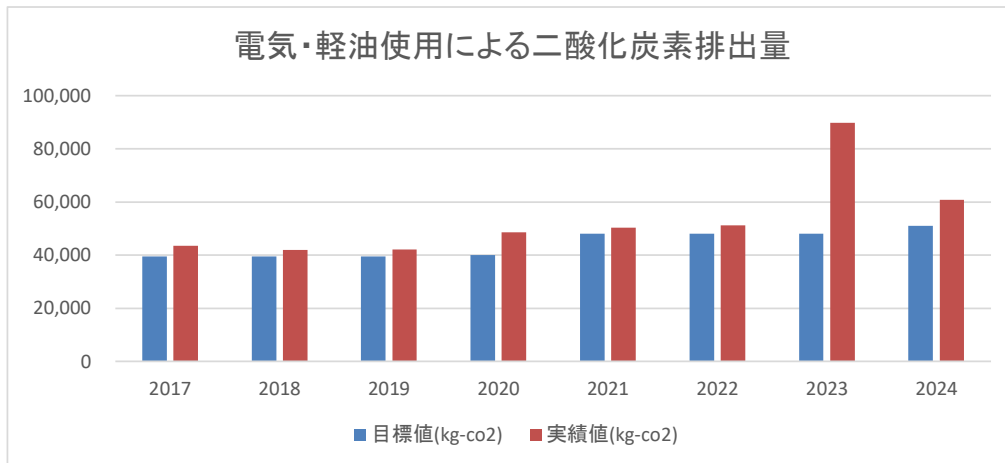
水資源	水資源削減目標	活動内容	実績	
	基準年度(2023年度)71.9㎡	節水	65.3㎡	節水コマの設置、節水できるホース
	2025年度は70㎡以下		取組結果	を洗車の際に使用する
			目標達成	

廃棄物	廃棄物削減目標	活動内容	実績	
	基準年度無 150kg以下	分別の徹底	130kg	アルミ缶、スチール缶、瓶、ペットボトル
	2025年度は150kg以下		取組結果	等、細かに分別しリサイクル率を上げ
			目標達成	廃棄物を削減する

地域貢献	地域貢献活動目標	活動内容	実績	
	地域貢献活動に4回参加	地域貢献活動の実施	4回	行政からの案内を元に、社内に周知し
	参加人数の増加		取組結果	参加を促す(快適かぞ市民活動)
			回数、参加人数ともに	無事故無違反
			目標達成	

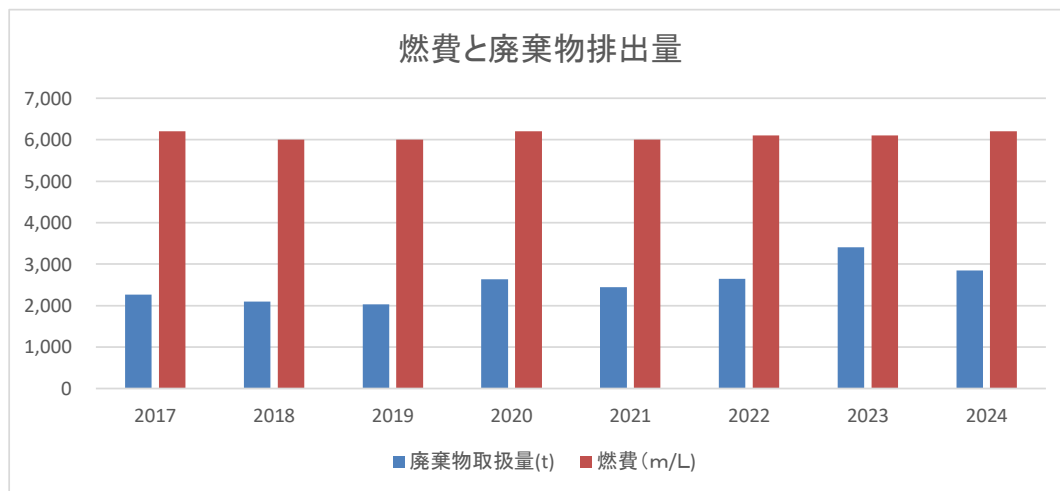
※購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナーの令和2年度の調整後の排出係数0.441(kg-CO2/kwh)を使用

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
目標値(kg-co2)	39,536	39,536	39,536	40,000	48,127	48,000	48,000	51,000
実績値(kg-co2)	43,440	41,918	42,044	48,544	50,301	51,254	89,818	60,745



	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
廃棄物取扱量(t)	2,270	2,096	2,032	2,638	2,448	2,644	3,411	2,842
燃費(m/L)	6,200	6,000	6,000	6,200.0	6,000.0	6,100.0	6,100.0	6,200.0

※燃費は軽油1,000ℓに対しての走行距離として換算



区分：記録	名称：環境経営レポート	2024年度版	
8. 環境関連法の違反/訴訟について 創業昭和28年以来、現在まで違反/訴訟に該当する内容はあります。 創業昭和28年以来、関係当局からの違反等の指摘はなく、訴訟もありません。 当社に適用される主な環境関連法 ・加須市条例第8条 加須市委託収集運搬量を月ごとに報告する→毎月報告している ・NOX法・PM法 1都8県の排ガス基準→車検ごとに確認している ・埼玉県生活環境保全条例40条 自動車の停車時及び駐車時の原動機の停止→アイドリングストップの周知 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)→許可取得済み、帳簿の作成及び保管を必要な年数行っている ・使用済み自動車の再資源化に関する法律→廃車する車が無かった為、該当なし。 ・家電リサイクル法→廃家電が無かった為、該当なし。 ・その他、外部からの苦情等ありません。 9. <<社長によるE A 2 1 レビュー記録>> 実施日：2025年4月9日 実施（有）ヤマトヨ商店 実施 秋山社長 【活動報告】 2024年度は、業務拡大の為、co2排出量が多くなった。年々業務内容、エリアが広がっているので致し方ないと思う。 平均燃費についてはほぼ横ばいなので、納得のいく結果である。事故や故障がないことが良い。 【見直しの可否】 環境方針、環境目標及び環境計画、実施体制について変更の必要は無しとする。 【社長よりの指示】 業務拡大により、車両の使用頻度や酷使する機会が多いが、故障やトラブルもなくスムーズに業務を執り行えているので、引き続き安全、安心をモットーに仕事に励んでほしい。			
6			